

○学位:学士(学術)

・グローバル文化学科

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、国際人間科学部グローバル文化学科は以下の方針に則りカリキュラムを編成する。

1. 「人間性」「創造性」「国際性」を学生に身につけさせるため、すべての学生が履修する共通の科目として、基礎教養科目、総合教養科目、高度教養科目、外国語科目、初年次セミナー、キャリア科目、情報科目、健康・スポーツ科目及びその他必要と認める科目を開設する。
2. 深い学識を涵養し、「専門性」を学生に身につけさせるため、以下の専門科目を開設する(共通専門基礎科目及び学部が開設する高度教養科目を含む)。
 - ・グローバルイシューに対する批判的・合理的思考力や人々と協働できるリーダーシップ、外国語や ICT を使いこなすコミュニケーション能力と情報を収集し分析する能力を身につけることができるよう学部共通基礎科目を開設する。
 - ・グローバルイシューを構成する諸課題を発見するため、多様な情報を収集し分析する能力、外国語や ICT を一層自在に駆使するコミュニケーション能力を身につけることができる学部共通発展科目を開設する。
 - ・グローバルイシューの解決に向けて他者と協働しつつリーダーシップを発揮する行動力を身につけることができるグローバル・スタディーズ・プログラム科目を開設する。
 - ・グローバルイシューを異文化理解の観点から理解するために必要な基礎的知識及び外国語のコミュニケーション能力を身につけることができる学科共通科目を開設する。
 - ・グローバル文化形成、グローバル社会動態、グローバル・コミュニケーションに関する中核的な知識と専門的能力を身につけることができる学科コア科目を開設する。
 - ・グローバル文化形成、グローバル社会動態、グローバル・コミュニケーションに関する発展的な知識と専門的能力を身につけることができる学科展開科目を開設する。

なお、これらの科目を実施するに当たり、講義、演習、実習等の授業形態に応じて、アクティブラーニングや体験型学修を適宜組み込み、少人数対話型教育を積極的に推進する。また、グローバル・スタディーズ・プログラムでは、海外研修とフィールド学修を組み合わせる。

学修成果の評価は、次の方法で行う。

- ・講義科目については、筆記試験、レポート、参加度等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。
- ・演習、実習科目等については、筆記試験、レポート、参加度、発表内容、実技等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。

・発達コミュニティ学科

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、国際人間科学部発達コミュニティ学科は以下の方針に則りカリキュラムを編成する。

1. 「人間性」「創造性」「国際性」を学生に身につけさせるため、すべての学生が履修する共通の科目として、基礎教養科目、総合教養科目、高度教養科目、外国語科目、初年次セミナー、キャリア科目、情報科目、健康・スポーツ科目及びその他必要と認める科目を開設する。
2. 深い学識を涵養し、「専門性」を学生に身につけさせるため、以下の専門科目を開設する(共通専門基礎科目及び学部が開設する高度教養科目を含む)。
 - ・グローバルイシューに対する批判的・合理的思考力や人々と協働できるリーダーシップ、外国語や ICT を使いこなすコミュニケーション能力と情報を収集し分析する能力を身につけることができるよう学部共通基礎科目を開設する。
 - ・グローバルイシューを構成する諸課題を発見するため、多様な情報を収集し分析する能力、外国語や ICT を一層自在に駆使するコミュニケーション能力を身につけることができる学部共通発展科目を開設する。
 - ・グローバルイシューの解決に向けて他者と協働しつつリーダーシップを発揮する行動力を身につけることができるグローバル・スタディーズ・プログラム科目を開設する。
 - ・グローバルイシューを人間発達及び人間科学の観点から理解する能力を身につけることができる学科共通科目を開設する。
 - ・発達基礎、コミュニティ形成に関する中核的な専門知識を身につけることができる学科コア科目を開設する。
 - ・発達基礎、コミュニティ形成に関する発展的な専門知識を身につけることができる学科展開科目を開設する。

なお、これらの科目を実施するに当たり、講義、演習、実習等の授業形態に応じて、アクティブラーニングや体験型学修を適宜組み込み、少人数対話型教育を積極的に推進する。また、グローバル・スタディーズ・プログラムでは、海外研修とフィールド学修を組み合わせる。

学修成果の評価は、次の方法で行う。

- ・講義科目については、筆記試験、レポート、参加度等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。
- ・演習、実習科目等については、筆記試験、レポート、参加度、発表内容、実技等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。

・環境共生学科

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、国際人間科学部環境共生学科は以下の方針に則りカリキュラムを編成する。

1. 「人間性」「創造性」「国際性」を学生に身につけさせるため、すべての学生が履修する共通の科目として、基礎教養科目、総合教養科目、高度教養科目、外国語科目、初年次セミナー、キャリア科目、情報科目、健康・スポーツ科目及びその他必要と認める科目を開設する。
2. 深い学識を涵養し、「専門性」を学生に身につけさせるため、以下の専門科目を開設する(共通専門基礎科目及び学部が開設する高度教養科目を含む)。
 - ・グローバルイシューに対する批判的・合理的思考力や人々と協働できるリーダーシップ、外国語や ICT を使いこなすコミュニケーション能力と情報を収集し分析する能力を身につけることができるよう学部共通基礎科目を開設する。
 - ・グローバルイシューを構成する諸課題を発見するため、多様な情報を収集し分析する能力、外国語や ICT を一層自在に駆使するコミュニケーション能力を身につけることができる学部共通発展科目を開設する。
 - ・グローバルイシューの解決に向けて他者と協働しつつリーダーシップを発揮する行動力を身につけることができるグローバル・スタディーズ・プログラム科目を開設する。
 - ・環境基礎科学及び環境形成科学に関する基礎的な知識を身につけることができる共通専門基礎科目を開設する。
 - ・グローバルイシューを環境共生の観点から理解する能力を身につけることができる学科共通科目を開設する。
 - ・環境共生に関する課題を発見するために必要な中核的な専門的能力を身につけることができる学科コア科目を開設する。
 - ・環境共生に関する課題を解決するために必要な発展的な専門的能力を身につけることができる学科展開科目を開設する。

なお、これらの科目を実施するに当たり、講義、演習、実習等の授業形態に応じて、アクティブラーニングや体験型学修を適宜組み込み、少人数対話型教育を積極的に推進する。また、グローバル・スタディーズ・プログラムでは、海外研修とフィールド学修を組み合わせる。

学修成果の評価は、次の方法で行う。

- ・講義科目については、筆記試験、レポート、参加度等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。
- ・演習、実習科目等については、筆記試験、レポート、参加度、発表内容、実技等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。

・子ども教育学科

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、国際人間科学部子ども教育学科は以下の方針に則りカリキュラムを編成する。

1. 「人間性」「創造性」「国際性」を学生に身につけさせるため、すべての学生が履修する共通の科目として、基礎教養科目、総合教養科目、高度教養科目、外国語科目、初年次セミナー、キャリア科目、情報科目、健康・スポーツ科目及びその他必要と認める科目を開設する。
2. 深い学識を涵養し、「専門性」を学生に身につけさせるため、以下の専門科目を開設する(共通専門基礎科目及び学部が開設する高度教養科目を含む)。
 - ・グローバルイシューに対する批判的・合理的思考力や人々と協働できるリーダーシップ、外国語や ICT を使いこなすコミュニケーション能力と情報収集し分析する能力を身につけることができるよう学部共通基礎科目を開設する。
 - ・グローバルイシューを構成する諸課題を発見するため、多様な情報を収集し分析する能力、外国語や ICT を一層自在に駆使するコミュニケーション能力を身につけることができる学部共通発展科目を開設する。
 - ・グローバルイシューの解決に向けて他者と協働しつつリーダーシップを発揮する行動力を身につけることができるグローバル・スタディーズ・プログラム科目を開設する。
 - ・グローバルイシューを人間発達及び次世代育成の観点から理解する能力を身につけることができる学科共通科目を開設する。
 - ・学校教育学、乳幼児教育学に関する課題を発見するために必要な知識と中核的な専門的能力を身につけることができる学科コア科目を開設する。
 - ・学校教育学、乳幼児教育学に関する課題を解決するために必要な知識と発展的な専門的能力を身につけることができる学科展開科目を開設する。

なお、これらの科目を実施するに当たり、講義、演習、実習等の授業形態に応じて、アクティブラーニングや体験型学修を適宜組み込み、少人数対話型教育を積極的に推進する。また、グローバル・スタディーズ・プログラムでは、海外研修とフィールド学修を組み合わせる。

学修成果の評価は、次の方法で行う。

- ・講義科目については、筆記試験、レポート、参加度等により、学修目標に即して多角的、包括的な方法で到達度を判定する。
- ・演習、実習科目等については、筆記試験、レポート、参加度、発表内容、実技等により、学修目標に即して多角的、包括的な方法で到達度を判定する。

○学位:学士(教育学)

・子ども教育学科

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、国際人間科学部子ども教育学科は以下の方針に則りカリキュラムを編成する。

1. 「人間性」「創造性」「国際性」を学生に身につけさせるため、すべての学生が履修する共通の科目として、基礎教養科目、総合教養科目、高度教養科目、外国語科目、初年次セミナー、キャリア科目、情報科目、健康・スポーツ科目及びその他必要と認める科目を開設する。
2. 深い学識を涵養し、「専門性」を学生に身につけさせるため、以下の専門科目を開設する(共通専門基礎科目及び学部が開設する高度教養科目を含む)。
 - ・グローバルイシューに対する批判的・合理的思考力や人々と協働できるリーダーシップ、外国語や ICT を使いこなすコミュニケーション能力と情報を収集し分析する能力を身につけることができるよう学部共通基礎科目を開設する。
 - ・グローバルイシューを構成する諸課題を発見するため、多様な情報を収集し分析する能力、外国語や ICT を一層自在に駆使するコミュニケーション能力を身につけることができる学部共通発展科目を開設する。
 - ・グローバルイシューの解決に向けて他者と協働しつつリーダーシップを発揮する行動力を身につけることができるグローバル・スタディーズ・プログラム科目を開設する。
 - ・グローバルイシューを人間発達及び次世代育成の観点から理解する能力を身につけることができる学科共通科目を開設する。
 - ・学校教育学、乳幼児教育学に関する課題を発見するために必要な知識と中核的な専門的能力を身につけることができる学科コア科目を開設する。
 - ・学校教育学、乳幼児教育学に関する課題を、文化的多様性を尊重した実践的教育の観点から解決するために必要な知識と発展的な専門的能力を身につけることができる学科展開科目を開設する。

なお、これらの科目を実施するに当たり、講義、演習、実習等の授業形態に応じて、アクティブラーニングや体験型学修を適宜組み込み、少人数対話型教育を積極的に推進する。また、グローバル・スタディーズ・プログラムでは、海外研修とフィールド学修を組み合わせる。

学修成果の評価は、次の方法で行う。

- ・講義科目については、筆記試験、レポート、参加度等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。
- ・演習、実習科目等については、筆記試験、レポート、参加度、発表内容、実技等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。

					日欧比較セミナー I A	日欧比較セミナー I B	日欧比較セミナー II A	日欧比較セミナー II B	日欧比較セミナー III A	日欧比較セミナー III B						
					Aspects of EU Culture and Society (Lecture) A	Aspects of EU Culture and Society (Lecture) B	Aspects of EU Culture and Society (Seminar) A	Aspects of EU Culture and Society (Seminar) B								
地域文化、異文化コミュニケーション、現代文化システム、言語情報コミュニケーションに関する中核的な知識と専門的能力		日本社会文化論	東アジア政治社会論													
		環大西洋文化論	越境文化形成論													
		現代社会理論	近現代社会思想論													
		文化人類学	国際関係論													
			文化政策論													
			第二言語習得論													
			非言語コミュニケーション論													
地域文化に関する発展的な知識と専門的能力					日本メディア文化論	日本思想文化論										
					日本歴史文化論	日本文化交流論										
					北アジア歴史社会論	オセアニア社会文化論										
					東南アジア政治文化論	東南アジア社会文化論										
					アメリカ社会論	英米テキスト文化論										
					アメリカ文化論	宗教文化論										
					ヨーロッパ社会文化論											
					地域社会共生論	コミュニティと表象	社会調査法A	社会調査法B	メディア論							
						労働環境史										
				地域文化論基礎演習 I	地域文化論基礎演習 II	地域文化論発展演習 I	地域文化論発展演習 II	グローバル文化特別演習 I	グローバル文化特別演習 II							
地域文化・異文化コミュニケーションに関する発展的な知識と専門的能力					現代民族誌学	現代社会人類学										
					比較民族学	文化混交論										
					文化翻訳論	科学技術文明論										
					多文化政治社会論	比較文化論										
					比較政治社会論	越境社会文化論										
					公衆衛生学	比較政策論	社会調査法A	社会調査法B								
					環境経済学	平和構築論										
					地域社会共生論											
				異文化コミュニケーション論基礎演習 I	異文化コミュニケーション論基礎演習 II	異文化コミュニケーション論発展演習 I	異文化コミュニケーション論発展演習 II	グローバル文化特別演習 I	グローバル文化特別演習 II							
専門性																

卒業研究 →

卒業研究 →

システム・言語情報コミュニケーションに関する発展的な知識と専門的能力

現代文化システムに関する発展的な知識と専門的能力					近現代文化言説論	近現代表象文化論								
					近現代政治思想論	近現代経済思想論								
					ジェンダー社会文化論	グローバル正義論								
					メディア社会文化論	現代規範論								
					近現代アート論	芸術文化表象論								
					視覚文化論	表象文化形成論								
						芸術文化環境論								
					シアトリカル・アート論	コミュニティと表象	コミュニティと都市	メディア論						
					公衆衛生学	コミュニティ・ジェンダー論	社会調査法A	社会調査法B						
					環境経済学	労働環境史								
					生活空間計画論									
					環境思想史									
				現代文化システム論基礎演習 I	現代文化システム論基礎演習 II	現代文化システム論発展演習 I	現代文化システム論発展演習 II	グローバル文化特別演習 I	グローバル文化特別演習 II					
													卒業研究	→
言語情報コミュニケーションに関する発展的な知識と専門的能力					コミュニケーション構造論	言語機能論								
					認知コミュニケーション論(知覚・認知心理学)	コミュニケーション表現論								
					ITコミュニケーションデザイン	翻訳コミュニケーション論								
					データマネジメント	音声コミュニケーション論								
					グローバル・イングリッシュ・ヒストリー	コミュニケーション比較論								
						日本語・日本事情演習								
						社会システム科学								
					生活空間計画論									
						統計情報処理								
					心理学の基礎と歩み(心理学概論)	知覚と行為(知覚・認知心理学)								
				言語情報コミュニケーション論基礎演習 I	言語情報コミュニケーション論基礎演習 II	言語情報コミュニケーション論発展演習 I	言語情報コミュニケーション論発展演習 II	グローバル文化特別演習 I	グローバル文化特別演習 II					
													卒業研究	→

